

低山はいかい倶楽部 報告 2018年2月

2月度 低山はいかい「大磯高麗山～湘南平～照ヶ崎海岸まで散策」実施報告

実施日:2018年2月28日(水)

参加者:(主幹事)田口愛子以下16名

本文

大磯は東海道五十三次の品川から8番目の宿場町、照ヶ崎海岸は日本初の海水浴場、また明治中期から昭和にかけて、政財界の要人の避暑・避寒地として多くの邸宅が建てられたこと等では有名ですが、一方大磯と聞くと50年位前に若者の間で人気のあった「大磯ロングビーチ」が思い浮かぶ方も多いかと思います。今回の参加者は正にその世代で、「大磯ロングビーチ」での青春時代の思い出話でひとしきり盛り上がりました。

駅の近くの公園で、最新の冬季オリンピック体操で体をほぐして、「はいかい」はスタートしました。まずは旧東海道を少し歩きましたが、クロマツ並木とエノキの巨木が見られ旧街道の風情が偲ばれました。少し寄り道をして、大磯町指定史跡名勝天然記念物の「ホルトノキ」を観察しました。樹齢300年以上、高さ18m、樹幹の広がり直径20mと県下で最大級で、一部の葉が紅葉しており、オーブに似た実が生っているのを見ることが出来ました。その後、高来神社で「シイニツケイ」を観察。スタジイ(推定300年)の幹上部に着根したヤブニツケイ(推定150年)がスタジイと共存・一体化したので、「シイニツケイ」と呼ばれているようです。高来神社から「高麗山(こまやま)」への登りが始まりました。神奈川県天然記念物に指定されている高麗山(標168m)は、スタジイ、タブノキなど常緑樹にケヤキ・ムクノキ・イロハモミジなどの落葉広葉樹が混ざった植生豊かな森で、旧東海道から見ても、素敵な景観です。山に入ると今回の目玉のひとつである「モクレイシ(ニシキギ科モクレイシ属)」の花を見ることができました。また株立ちしているカゴノキの高木、満開のヤブツバキとクリーム色に近い緑の花を付けたオニシバリを見ることができました。昼食を摂った湘南平からは、少し霞んではいましたが、富士山、大山を初め丹沢の山、箱根連山を見ることが出来ました。海側は残念ながら眼下の江の島くらいしか見られませんでした。天気良ければ、相模湾の海岸線、伊豆大島、房総半島までの大パノラマが展開されるそうです。

昼食後は山を下り、大磯の町とアオバトの集団飛来地の照ヶ崎海岸まで散策しました。平塚で行われた「振り返り」では参加者から楽しかった感想と今回幹事の田口愛子さんに対する感謝が述べられました。話題は多岐に亘り、大いに盛り上がりました。いつも通り楽しい一日でした。ありがとうございました。

(報告者)入江克昌

以上



旧東海道・化粧坂



旧東海道・大磯



カゴノキ



相模湾